

## 「自然科学研究所」公開講演会

### 3氏が研究発表

自然科学研究所第6回公開講演会が「地球を取り巻く地磁気—その起源とオーロラ—」をテーマに、12月3日に生田キャンパスで開催された。学生、市民ら130人以上が参加し、熱心に耳を傾けた。

佐藤暢経営学部助教授が「地磁気を作る場所—地球の内部構造—」と題して講演。続いて、独立行政法人産業技術総合研究所の菅沼悠介博士が「地球史はじめの1ページ—太古代地球の磁場と環境—」と題して、地球環境の変遷に関する最新の結果をご自身の研究も踏まえ発表。大阪市立大学工学研究科の南繁行教授は「オーロラへの招待」と題し、美しいオーロラの写真を交えながら、オーロラのメカニズムや発生実験の様子について講演された。



講演する菅沼悠介博士



大阪市立大 南繁行教授

## 法科大学院

### 「知的財産法制の将来像」テーマに国際研究大会開く

文部科学省・法科大学院等専門職大学院形成支援プログラムに選ばれている「知的財産に関する先端的映像教材の開発」プロジェクトとALAI(国際著作権法学会)Japanが共同で国際研究大会を12月10日、神田キャンパスで開催した。

「知的財産法制の将来像」をテーマに「著作権の将来像」をカールスルーエ大学のトマス・ドライヤー教授が、「欧州におけるデザインの保護」についてマックス・プランク研究所のアネッテ・クーア教授が講演。その後、プロジェクト代表の齊藤博教授が、知的財産法とそれに関連する領域における人材育成のための映像教材について研究報告を行った。



報告する齊藤教授

《校友の本 紹介》

## 「クローズド・ノート」雫井脩介さんが新境地

ミステリー作家の雫井脩介さん(平3文)の最新作『クローズド・ノート』は、これまでの大胆な作風からがらりと変わって、女子大生が主人公の切ない恋愛小説。携帯サイトで連載され、100万アクセスを記録した話題作だ。

大学生・香絵はある日、アパートの前の住民が置き忘れたノートを発見。読み進めていくうちに、その住民と香絵とのふたつの心情が重なり合っていく…。(角川書店、本体1500円+税)

